

荒川水系（東京ブロック）流域治水協議会〔第1回〕

議事概要

- 1 日時：令和2年8月24日（月）15:30～16:00
- 2 場所：荒川下流河川事務所 総合管理棟 アモアホール
- 3 出席者：別紙「出席者名簿」のとおり
- 4 議題
 - (1) 流域治水プロジェクトについて
 - (2) 協議会設立趣旨、協議会規約（案）
 - (3) 荒川下流河川事務所長挨拶
 - (4) 構成員より一言
 - (5) 荒川水系（東京ブロック）流域治水プロジェクト【中間とりまとめ案】及び
今後の予定
 - (6) 意見交換
- 5 議事概要
 - (1) 流域治水プロジェクトについて
流域治水協議会設立の背景についての説明（事務局）
 - (2) 協議会設立趣旨、協議会規約（案）
協議会設立趣旨、協議会規約（案）について説明（事務局）
 - ・協議会設立趣旨、協議会規約（案）に記載の協議会名の(仮称)を削除し、協議会規約より（案）を取ることが了承された。
 - (3) 荒川下流河川事務所長挨拶
 - ・沿川7区、東京都、国土交通省の強いパートナーシップの下で、荒川下流域の流域治水ではSDGsを活用し、多くの関係者が主体的に取り組む形を目指していきたい。

(4) 構成員より一言

- ・本項目について、各区長より以下の発言があった。

〈山本墨田区長〉

国土交通省そして東京都と更に連携し、流域治水への考えの下でしっかり対応していきたい。

〈山崎江東区長〉

これから各区一緒に力を合わせて国や都と一緒に頑張っていかなければならない。

〈花川北区長〉

流域治水の考え方を踏まえて、浸水被害軽減の取り組みを国や都、7区と連携しながら区民の安全安心を確保していきたい。

〈坂本板橋区長〉

国や東京都また関係区をはじめ、住民も含めた対策が大変重要。区民国民が安心して暮らせるような地域づくりに役立つよう協力していきたい。

〈近藤足立区長〉

台風第19号の経験を踏まえ、各区とも非常に高い危機感を覚えている。荒川の右岸が破堤すると、首都全体の問題にもなることから、これから氾濫域の自治体も呼びかけをしていただきたい。

〈青木葛飾区長〉

皆さんと力を合わせてしっかり取り組んでいきたい。

〈斉藤江戸川区長〉

この協議会が流域全体の区民の皆さんの安全安心の街に繋がるよう努力する。

(5) 荒川水系（東京ブロック）流域治水プロジェクト【中間とりまとめ案】及び
今後の予定
中間とりまとめ案、今後の予定について説明（事務局）

(6) 意見交換

以下の意見交換が行われた。

- ・荒川下流域における治水対策の推進には、関係一体となった取り組みが不可欠である。今後、「流域治水プロジェクト」に位置付けた事業を推進するため、各区の要望は葛飾区がとりまとめ、継続的な取り組みを進めていく。

